

小学校 音楽科学習指導案

日 時 平 成 23 年 〇 月 〇 日

対 象 〇〇立〇〇小学校 第2学年〇組

1 題材名 「リズムのおんがくをつくろう ～くだもの・やさいのリズムをつかって～」

2 題材の目標

- 言葉のもつリズムに興味・関心をもって、リズムづくりにすすんで取り組む。
- リズムをつなげたり重ねたりして、音楽の仕組み（構成）を工夫する。
- グループでまとまりのある音楽をつくる。

3 学習指導要領との関連

【A表現：(3) 音楽づくり】

イ 音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること。

[共通事項]

ア (ア) リズム (イ) 反復 構成

4 題材の評価規準

ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
① 野菜と果物の言葉がもつリズムの面白さに興味・関心をもち、短いリズムをつくる活動に進んで取り組もうとしている。 ② 友だちとリズムをつなげる活動を楽しみ、「やおやさんゲーム」に進んで取り組もうとしている。	① リズムのおもしろさを感じながら、自分の思いをもって短いリズムをつくっている。 ② 音楽の仕組み（構成）を生かし、いろいろ試しながら、自分たちの考えをもってまとまりのある音楽をつくる工夫をしている。	① 音楽の仕組み（構成）を生かし、グループでリズムをつないだり重ねたりして、拍の流れにのってリズムの音楽を演奏している。

5 指導観

(1) 題材観

本題材は、学習指導要領の第2学年の内容「A表現(3)イ 音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること」を達成するための題材である。本題材では、自分なりに短いリズムをつくった上で、まとまりのある音楽に構成していく活動に取り組む。

児童は、常時活動でリズム遊びを体験し、前の題材では音符とリズムについての学習をしてきている。本題材では、今までに学習してきた内容を生かし、音を音楽に構成する力を育成したい。なお、音を音楽に構成する段階はグループで行い、友達とリズムをつなげたり、重ねたりする方法をとる。そうすることで楽しみながら音楽づくりができ、今後の音楽づくりの学習にもつながっていくと考えた。

(2) 児童観

第1学年から担当している。児童は、「タン タン タン ウン」と「タタ タタ タン ウン」のリズムに合わせた3文字と5文字の「ことばあそび」を経験している。常時活動としてリズム模倣は行っているが、児童自らがまとまりのあるリズムをつくった経験はない。一つ前の題材で、拍子(2拍子と3拍子)、音符(4分音符、4分休符、8分音符、8分休符)について学習している。学習は全体で進めることが多く、小グループでの活動はあまり経験がない。本題材では、児童にリズムをつくりだすことを楽しみ、友だちと協力してまとまりのある音楽に構成していく方法を学んでほしいと願っている。

(3) 教材観

ア リズム

(ア) 食べ物の言葉と結びつけた「4拍分のリズム」

今回は児童が取り組みやすいよう、食べ物に関する言葉を用いてリズムづくりを行う。一人一人がつくるリズムは、4分音符、4分休符、8分音符、2分音符を組み合わせた4拍分のリズムとする。リズムと言葉を結びつけて扱うため、言葉を唱えながらリズムを打つことができ、苦手な児童も無理なくリズムを打つことができる。一人一人のリズムは短いため、友だちとつなげたり重ねたりすることで、まとまりのある音楽をつくる活動につなげることができる。

6 手だて

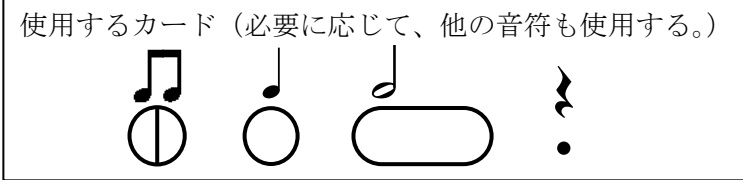
(1) 教材、教具の工夫

ア 児童が興味をもてるような教材を工夫する。本学級の児童は、以前ウォーミングアップとして絵本『おやおや、おやさい』『くだものだもの』を拍にのって読む活動を行った際、とても興味深く読んでいた。児童にとって身近な食べ物に関する言葉を用いることで、意欲的に活動できると考えた。

イ 実際に操作し、試行錯誤できるようなリズムカードやワークシートを工夫する。実際に音符を並べて試しながら考えられるように、音符のカード(言葉を書く欄がついたもの)を用意する。

ウ 友だちと意見を言い合い、楽しみながら音楽をつくることができるよう、ワークシートを工夫する。音楽の全体像を一目で見て分かるワークシートと貼り替え可能な付箋を使用することで、意見交流が活発になると考えた。

7 題材の指導計画と評価計画（全4時間扱い）

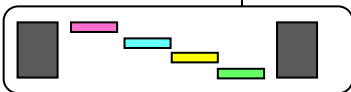
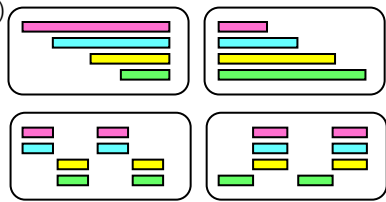
次	時	◆ねらい	○学習内容	・学習活動	具体の評価規準 (評価方法)	
第1次		◆ リズムの面白さを感じ取って短いリズムをつくり、リズム遊びを楽しむ。				
	1		○言葉のもつリズムの面白さを感じ取り、その言葉を基にしたリズムをつくる。 ・やおやさんに売っている食べ物の言葉を探す。 ・食べ物の名前を言いながらリズムを打つ。 ・リズム模倣、リズムリレーをしてリズムの面白さを感じ取る。 ・食べ物を選び、自分のリズムカードをつくる。		ア① (活動観察・発言) イ① (発言、ワークシート)	
		使用するカード（必要に応じて、他の音符も使用する。） 				
	2		○つくったリズムをつなげて、リズム遊びを楽しむ。 ・やおやさんゲームをする。やおやさんのリズム（始め「なーににします?」、終わり「まいどあり、またきてね」）を確認する。	やおやさん : 「なーにに します?」 ↓ おきゃくさん : 4人のリズムをつなげたもの ↓ やおやさん : 「まいどあり・またきてね・」	ア② (活動観察・発言)	
第2次		◆ 音楽の仕組みを生かして、まとまりのある音楽をつくる。				
	3 (本時)		○音楽の仕組み（構成）を工夫してまとまりのある音楽をつくる。 ・前時に行った「やおやさんゲーム」の「音楽の形」を知る。 ・グループで「音楽の形」を考え、いろいろ試しながら8小節の音楽をつくる。 ・途中経過をいくつかのグループが発表し、「音楽の形」について話し合う。		イ② (活動観察、発言、ワークシート)	
	4		・グループで相談しながら、曲を完成させ、曲名を付ける。 ・グループごとに発表して、聴き合う。 ・感想を発表し合う。		ウ① (演奏聴取、ワークシート)	

8 本時（第3時／全4時間中）

(1) 本時のねらい

音楽の仕組み（構成）を工夫して、まとまりのある音楽をつくる。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	指導上の留意点	具体的評価規準 (評価方法)
導入 (7分)	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返る。 前時行なった「やおやさんゲーム」の「音楽の形」を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> リズム打ちと前時の「やおやさんゲーム」を行う。 前時の「音楽の形」(図)を掲示する。 	
展開 (35分)	<p>○音楽の仕組み（構成）を工夫して、まとまりのある音楽をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで相談しながら「音楽の形」を考え、まとまりのある音楽をつくる。 途中経過をいくつかのグループが発表する。 「音楽の形」の工夫について、気が付いたことを発表し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈予想される工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> くりかえし リレー 人数の変化 最初や最後の工夫 休符の使用 </div> <ul style="list-style-type: none"> 再度グループに分かれ、「音楽の形」を考え、まとまりのある音楽をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 視聴覚室に移動して活動するようにする。 グループごとに、4色の付箋とワークシートを用意する。 リズムを実際に打ったりしながらつくることを伝える。 説明や気付きが不十分な部分については、教師が補足する。 出てきた「音楽の形」の工夫を整理して、掲示する。 <p>例)</p> 	<p>イ②</p> <p>音楽の仕組み（構成）を生かし、いろいろ試しながら自分の考えをもってまとまりのある音楽をつくる工夫をしている。 (活動観察、発言、ワークシート)</p>
まとめ (3分)	<ul style="list-style-type: none"> 次時の予定を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 次時は自分たちの曲を完成させ、グループごとに発表することを伝える。 	

(3) 本時の授業実践の視点

- 教材、教具は効果的であったか。
- ワークシートは適切であったか。